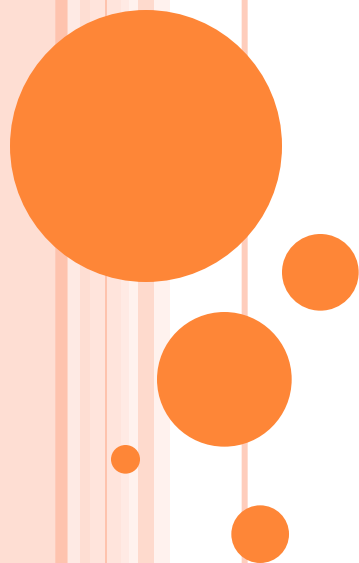


市民会館跡地活用 コンセプトと敷地の考え方について (中間報告)



1 市民の思い・ニーズ

昨年度実施した市民アンケートや100人会議での意見を検証し、
市民会館跡地活用に対する市民の思いやニーズについてまとめます

1 市民の想い・ニーズ

①市民会館跡地活用に関するアンケート

i) 市民会館との関わり方について

⇒ 利用したことがあるのは、約7割

ii) 利用頻度について

⇒ 約9割が年に1～2回程度

iii) 市民会館跡地に描くキーワードについて

⇒ 「音楽会」や「ホール」など旧市民会館が備えていた機能が上位ですが、「多世代交流」や「公園」、「カフェ」といったこれまでにない機能も支持されています。



順位	キーワード	回答	割合
1	音楽会	198	30.4%
2	ホール	186	28.5%
3	イベント広場	180	27.6%
4	発表会	148	22.7%
5	多世代交流	144	22.1%
6	公園	142	21.8%
7	カフェ	139	21.3%
8	緑	138	21.2%
9	交流	128	19.6%
10	スポーツ活動	126	19.3%

表：市民会館跡地に描くキーワード(上位10位まで)(複数回答)

1 市民の想い・ニーズ

iii) 市民会館跡地に描くキーワードについて

⇒ これまでの関わり方別にクロス集計すると、
「利用したことがない」では、「公園」や
「カフェ」が上位を占めます。



◎ アンケートの結果から

- ・多くの人が旧市民会館を利用したことがありますが、年間の利用頻度は高くはありません。
- ・「音楽会」など旧市民会館が備えていた機能だけでなく、「公園」や「カフェ」といった、気軽に訪れ、憩える場としての機能も期待されています。
- ・これは特に、「利用したことがない」層において顕著です。

利用したことがある			利用したことがない		
順位	キーワード	回答	順位	キーワード	回答
1	音楽会	154	1	公園	49
2	ホール	149	2	カフェ	39
3	イベント広場	133	3	イベント広場	38
4	発表会	123	4	多世代交流	34
5	市民活動	106	5	音楽会	32
6	多世代交流	102	6	緑	31
7	緑	96	7	スポーツ活動	30
8	交流	93	8	子どもの遊び場	29
8	カフェ	93	9	飲食	27
10	スポーツ活動	86	10	交流	26
11	公園	85	11	ショッピング	25
11	生涯学習	85	12	医療	24
13	医療	83	12	健康づくり	24
14	屋上庭園	77	12	ホール	24
14	子どもの遊び場	77	12	生涯学習	24
14	防災	77	16	情報発信	22
17	健康づくり	75	16	社会福祉	22
18	アート	74	16	保育	22
19	情報発信	73	19	アート	21
20	飲食	70	20	若者支援	17

表：市民会館跡地に描くキーワードと市民会館との関わり方のクロス集計（上位20位まで）

1 市民の想い・ニーズ

②市民会館100人会議

各回でいただいた主な意見と、特徴



【10・20歳代】

- ・音楽やバレエなど、これまでから活動されている方を中心にホールを望む声がある一方で、大ホールでのイベントなどに限らず、自然と集まって時間を過ごす、**日常的な使い方**を望む声もありました。
- ・テーマ別や世代間、コミュニティ間など、さまざまな形で「**交流**」をキーワードにあげる意見が多く見られました。

【30歳代】

- ・**ホールについては、稼働率や規模の必要性の分析**をしっかりともらいたいという意見がありました。
- ・前を通っても活動が見えないホールより、誰もが、**憩い、交流し、発表**ができるオープンなスペースを望む声や、ハードだけでなく、企画等を仕掛ける人など、**ソフトの重要性**についての意見がありました。

【40歳代】

- ・文化交流ができる複合施設や、**気軽に集える場**としてほしいといった意見のほか、経費面について考慮すべきとの意見がありました。
- ・医療や高齢者の活躍の場などの声も比較的多くありました。

1 市民の想い・ニーズ

②市民会館100人会議

各回でいただいた主な意見と、特徴



【50歳代】

- ・ホールだけでなく、**噴水部分やグラウンドなどを含め、有機的につながりのある複合的な空間**にできないかという意見や、近接してカフェやレストランを設け、総合的に楽しめる場所にするなど、**人が集まり、にぎわいを生み出すもの**にしたい、という意見がありました。
- ・立命館のホールについては、値段を気にする声が多くありました。

【60歳以上】

- ・10・20歳代と同様に、**他世代との交流**ができる場にしてほしいという意見がありました。
- ・市民会館の建設コストや維持にかかる経費など、財政負担を懸念する声が多く、市民病院や市バスについても、財政面や他に同様の機能があることから不要という意見もありました。

1 市民の想い・ニーズ

②市民会館100人会議

各回でいただいた主な意見と、特徴

【文化関係団体】

- ・これまで市民会館を利用してこられた方が多いこともあり、**ホールを望む**声が非常に多くありました。
- ・ホールについては、**席数の大きさや音響へのこだわり**など、活動内容により理想とするイメージにはばらつきも見られました。

【各施策関係団体】

- ・幅広く、**「まちづくり」という視点**から、茨木の中心である市民会館跡地をどうするか、子ども達のために、我々は今、茨木をどうしていくのか、という大局を見据えた声が多くありました。
- ・その中で「何かを生み出す」ものづくりの中心となれば、という意見や、既存施設を再編して多機能な施設を、という意見もありました。

【利用実績のある団体】

- ・「ここいごこちいいね」と思ってもらえるよう、**素敵な公園**や人工台地を活用し、ヨーロッパの**まちの中心にある広場**のように、市場がたったり、演説をしたり、**色んな人が交流**できる場所に、という声がありました。
- ・上記のように、建物にこだわらず、まちの**にぎわいや交流**を視野にした場を、という意見がみられました。



1 市民の想い・ニーズ

②市民会館100人会議

各回でいただいた主な意見と、特徴

【利用していた市民】

- ・ヨーロッパのまちの中心にある**大きな広場をイメージ**した、そこに多くの人が集まる**ソフト的な魅力**を備えたものを、という意見がありました。
- ・また、多くの市民に関わる事は、行政だけでなく市民も関心を持って、**参画**することが必要であることを実感した、という声も見られました。

【利用したことがなかった市民】

- ・これまで「利用されたことがない」方であることから、ホールなどの意見は少なく、起業等の**情報発信や医療、救急**などの視点での意見がありました。



◎100人会議を通じた市民会館に対する想い

- 
- ・多様な意見がある中で、いずれの回においても「**ホール**」に関する意見が一定数ありました。
 - ・「ホール」以外で連想される言葉を大まかにまとめていくと、「**憩い**」、「**交流**」、「**にぎわい**」というキーワード(要素)に集約されます。

1 市民の想い・ニーズ

100人会議のキーワードを既存施設の要素でもある「ホール」と、新しく提示された要素である「憩い、交流、にぎわい」にわけて、さらに100人会議での発言を検証し、抜粋します。

■「ホール」

【第1回(10・20歳代) Yさん】

～ライブハウスみたいな感じで若者が集まって盛り上がることもできるような、そういう施設があればなと思います。～
(規模は) 150とかですかね。とりあえず、そんなに大人数が集まってガーッとというよりは、まだ中ぐらいのところに人がギューギュー詰めに入っているようなイメージ～

【第1回(10・20歳代) Nさん】

去年のおどりんピックの全出場者は150組ぐらいいて、出たって言った団体は全員出られたんですけど、今年から60組で抽せんになって、抽せんにもれたら～発表する場がないってなるので、もっと発表する場が欲しいなと～

【第2回(文化関係団体) Aさん】

やっぱりホールが、響きのいいホールが、市民会館の跡にはやっぱり市民会館が欲しいというのが大きな希望です。

【第3回(60歳以上) Tさん】

一言でいえば、多目的のホール～音楽とか演劇とか講演とか、そういうことのできる場所、と同時に、今おっしゃったように若い方がたくさんいらっしゃるわけですから、こういう方にも利用できる場所も合わせてつくっていただきたらという考えです。

1 市民の想い・ニーズ

■「ホール」



【第5回(50歳代) Mさん】

大きいホールよりも使い勝手のいい小さな、中規模ぐらいのホールのほうがいいのではないかと考えています。～世界的な音楽家が来るようなところはもう大阪市に任せて～市民が使いやすいホールがいいと思っています。

【第6回(各施策関係団体) Sさん】

やはり音楽ホール、1,200から1,500席くらい。そしてオーケストラ、オペラもこちらから呼ぶようにして、そういういい音を今の子どもたちに聴かせていく。

【第8回(利用実績のある団体) Fさん】

実際、会館を利用するに当たって、先ほど皆さんがおっしゃられた中で僕も思うのは、箱としてのキャパですよね。～1,000席のホールをこれからずっと運営していくということを考えれば、～実感としては、余り採算は見込めないのではないかと。

【第10回(利用していた人) Kさん】

やっぱり市民が使いやすいホール、中途半端という言い方はあれですけど、クリエイトとか、きらめきとか、そういうホールはいろいろな場所にありますが、やっぱりあれぐらい(旧市民会館)の大きいホールは、私たちだけじゃなくて、茨木市吹奏楽団の方も使われますし、中高生も使われるし、大学生とかも使われますし、やっぱりああいうホールは必要だなと

まとめ



- ・中規模から1,000席以上、また、音響にこだわるのか多目的のホールにするのか、などホールの規模や機能面についてのイメージは多様で、多面的な検討が必要です。
- ・共通する意見としては、市民が使いやすいホールにしてほしい、が多くありました。

1 市民の想い・ニーズ

■「憩い、交流、にぎわい」



【第1回(10・20歳代) Oさん】

例えば、ホールがあって、**その広場みたいなところを一面人工芝とかにして**、すごくきれいにしておくだけでも人が集まったり、小さい子が転んでも安全のようにしていて、そこで遊ぶスペースだけをバーンって。で、整備をきれいにするだけでもしておけば～**使い方だったりっていうのは僕たちに任せてもらったほうがいいのかな**と思います。なので、**本当に広場みたいなので**、すごい安全な、公園じゃないんですけど、一面人工芝とかがいいかなと思います。

【第4回(30歳代) Fさん】

今、**あそこ(旧市民会館)の前のスペースって結構、何かやっていますよね**、ダブルダッチの練習、結構、夜遅くまでしていたりとか、体育祭の時期とかだったら、春日丘か、茨木か、高校生が練習をしていたりとか、色んなふうに使っていたりもしていて、～ダブルダッチしているサークルに一遍、たくさんのカフェのお客さんの前でやってみないかとか～見られる場でもやったら、すごいおもしろいだろうなと思いますし、そういう**広場もあったり、カフェもあったりして～**

～何かしら、そういう企画をしたりとか、～仕掛ける人が絶対にいると思うのです。今度は、高校生にやらしてもらおうとか、この日は多世代交流できるイベントをやってみようとか、そういう仕掛ける人、**ソフトを必ずセットで、場所っていうのを考えたいな～**

【第6回(各施策関係団体) Kさん】

創造という、ものをつくるということは、一からものをつくるということもありますけれども、いろんな意見を交えて、そこから新しいものが生まれるというのも創造なので、創造の場みたいな。はっきりしたホールであり、何でありというものも必要かしれませんが、単なる創造の場であって、**どう動いていくかというのは時間に任せる**、ぐらいいいことをすれば、他市と比べて、何か茨木の良さが出るのではないかという感じがしております。

1 市民の想い・ニーズ



■「憩い、交流、にぎわい」

【第8回（利用実績のある団体）Oさん】

とにかく**センスのいいもの**があれば、すぐ茨木市の中心に茨木の顔となるものとしていいものになるのではないかなと、跡地利用としてはそういうことが夢としてあります。～

～わざわざ大きなお金でまた大きな建物をつくるよりは、人に、「こことってもいごこちいいね」と思ってもらえるような**素敵な公園**があれば、～

【第8回（利用実績のある団体）Fさん】

～この人工台地というのは唯一そういう茨木市の中心にあって、**広場になり得る場所**ではないかなと思っていたのです。

私のテーマとしては、「**絵になるまち**」になってほしいなと。どこで写真を撮っても、誰が見ても茨木ってきれいだね、すごいねっていうふうになったら嬉しく思います。

【第10回（利用していた人）Kさん】

ヨーロッパのまちは、どこに行っても大きなまちには市庁舎の前に**大きな広場**があって、～色んなイベントができて、週末には市（市場）がたったりとか、いつもそこに人がたくさん集まるんですね。～**何をするかというのはちょっと皆さんいろいろ議論**していただきたいんですけども、

そういう幅広い年代なり、層の人たちにとってそういう魅力的な、あそこ行ったら必ずおもしろいものがあるよというような、そういうことが、それがものなのか、イベントなのか、多分、**ソフトウェア的な話が大部分、面が強いんじゃないか**と思うんですけども、

まとめ



・ハード面では、「**広場**」というイメージが共通項として見出されたほか、**デザイン性**についても重要視されています。

・ソフトの重要性や、使い方は**市民や時間に「任せる」**という考えが示されています。

1 市民の想い・ニーズ

③市民会館100人会議 最終報告会



市民会館100人会議最終報告会では、100人会議でいただいた意見をもとに、「憩い」、「交流」、「にぎわい」というキーワードごとにグループに分かれ、市民同士の対話の中から跡地活用を考え、最後にキャッチフレーズを作るワークショップを行いました。

キーワード	グループ	キャッチフレーズ
憩い	A	(立場・世代を超えて)自由に集まる 行きたくなる場所 行ける場所
	B	みんなウキウキできる特別な場所
	C	文化の香る場所
		次なる茨木へ 全世代が集える場所 いつでもどこでも 楽しいと思える癒しの場所
交流	D	集・学・憩・楽・遊
		誰もが学び・憩い・楽しみ 魅力を発信できる場所
	E	人々が集う 活気あふれる 文化芸術にふれる場所
	F	カジュアルな交流 気軽に交流ができる場所 フォーマルな交流 ホール会議室などを利用しやすい場所
にぎわい	G	茨木市のシンボルとしてずっとありつづける場
	H	大きなホールより人が集える場所
	I	楽市楽座的な場所
		世代間交流の場所 おも城(しろ)市民会館

1 市民の想い・ニーズ

■最終報告会ワークショップでの発表



- ・カフェや緑の多い屋外スペースなどを確保し、イベント等がない場合でも気軽に自由に利用できる場所。
- ・子育てや文化芸術、スポーツなど、分野をこえて、多くの人とのつながりが生まれる場所。
- ・屋外と屋内施設の一体利用や、自らが参加する市民運営により、今までとは違うひらめき、ワクワクが生まれる場所。
- ・様々な機能を持った空間の行き来が自由で、普段から気軽に利用することができる場所。
- ・市民が表現できる場、市(市民)の魅力を発信できる場所。
- ・市民のための多様な活動空間、どの世代にとっても魅力のある施設。
- ・オープンで出入りしやすく、誰もが日常的に使いながら交流できる空間と、行事や発表の場など、目的をもった活動の中で交流が生まれる空間。
- ・多機能で、市のシンボルとなるような施設。
- ・日常生活の延長で自然に、あるいは行事など特別なときに、人がたくさん集まり交流できるような工夫や仕掛けを組み込んだ場所。



まとめ

- ・旧市民会館大ホールに代表される“行事”や“発表”など、市民の皆さんにとっての『ハレの特別な日』を担う機能と、普段から気軽に行けて活動、交流できる『日常の場』という機能の2つの視点が求められています。

2 社会情勢・政策課題についての検討

社会情勢や本市の政策課題を分析し、
行政として必要な機能について検討します

2 社会情勢・政策課題についての検討

■各課が市民会館跡地に必要と考える機能(主な意見)

◎「子育て世代包括支援センター」

市中心部に位置し、市民の利便性が高い上、市庁舎に隣接することで福祉分野など関係課とも連携のとりやすいことから整備を検討すべきとの意見。

(保健医療課、子育て支援課)

母子保健・
子育て

◎「多世代交流複合センター」

若年層から高齢者まで利用でき、くつろぎの空間を備えた施設の整備により、中心市街地の活性化に繋がるとの意見。(福祉指導監査課)

にぎわい・
憩い・
多世代交流

◎「(中条)図書館」、「プラネタリウム」

老朽化やバリアフリー、集客の観点から移転を検討。(中央図書館、文化振興課)

にぎわい・
公共施設
マネジメント

◎「野外ステージ」、「催事スペース」

目を引きやすく、参加しやすい屋外のイベントでにぎわい創出を図るという意見。

(文化振興課、商工労政課、公園緑地課)

◎「緑あふれる交流空間」、「屋上市民農園」

ビルの中に里山空間を再現するなど、北部地域の魅力発信やヒートアイランド対策を図るとの意見。(農とみどり推進課ほか)

憩い・
環境

◎「災害時対応」

大規模災害時の罹災証明交付等活動場所、備蓄倉庫等(危機管理課)

安全・
安心

2 社会情勢・政策課題についての検討

■総合計画・都市計画マスタープランに基づく方向性

◎中心市街地においては、「医療・福祉」「子育て」「文化」などの機能を組み込み、「人」「モノ」「カネ」に加えて「感性」が循環し交流する、生活に彩りを持たせることのできる地域をめざすとしています。



社会情勢や課題を検証

○「母子保健」、「子育て」

- ・核家族化等により、出産・子育てに関して相談できる人が身近にいない状況にある家庭が増えています。
- ・虐待による死亡事例のうち、0歳児の割合が約6割に増加しており、妊娠期からの切れ目ない支援が必要とされています。
- ・妊娠期から就学まで、すべてのことを相談できるワンストップの拠点があれば、必要なサービスをより円滑に利用できる体制をとることができ、切れ目の無い子育て支援に資することができます。

○「文化」

- ・市民会館閉館により、発表の場が不足しています。
- ・「文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり」(第5次総合計画)が必要です。

2 社会情勢・政策課題についての検討

■その他課題等

○中心市街地という立地性

・JR、阪急の両駅の間であり本市の中心市街地に位置するという立地性から、にぎわいづくりや活性化などの面から検討が必要です。

○公共施設マネジメント

・周辺の老朽施設との複合化、全体最適化の視点から検討が必要です。
・トータルコストの縮減や官民連携(PPP)手法の導入検討が必要です。

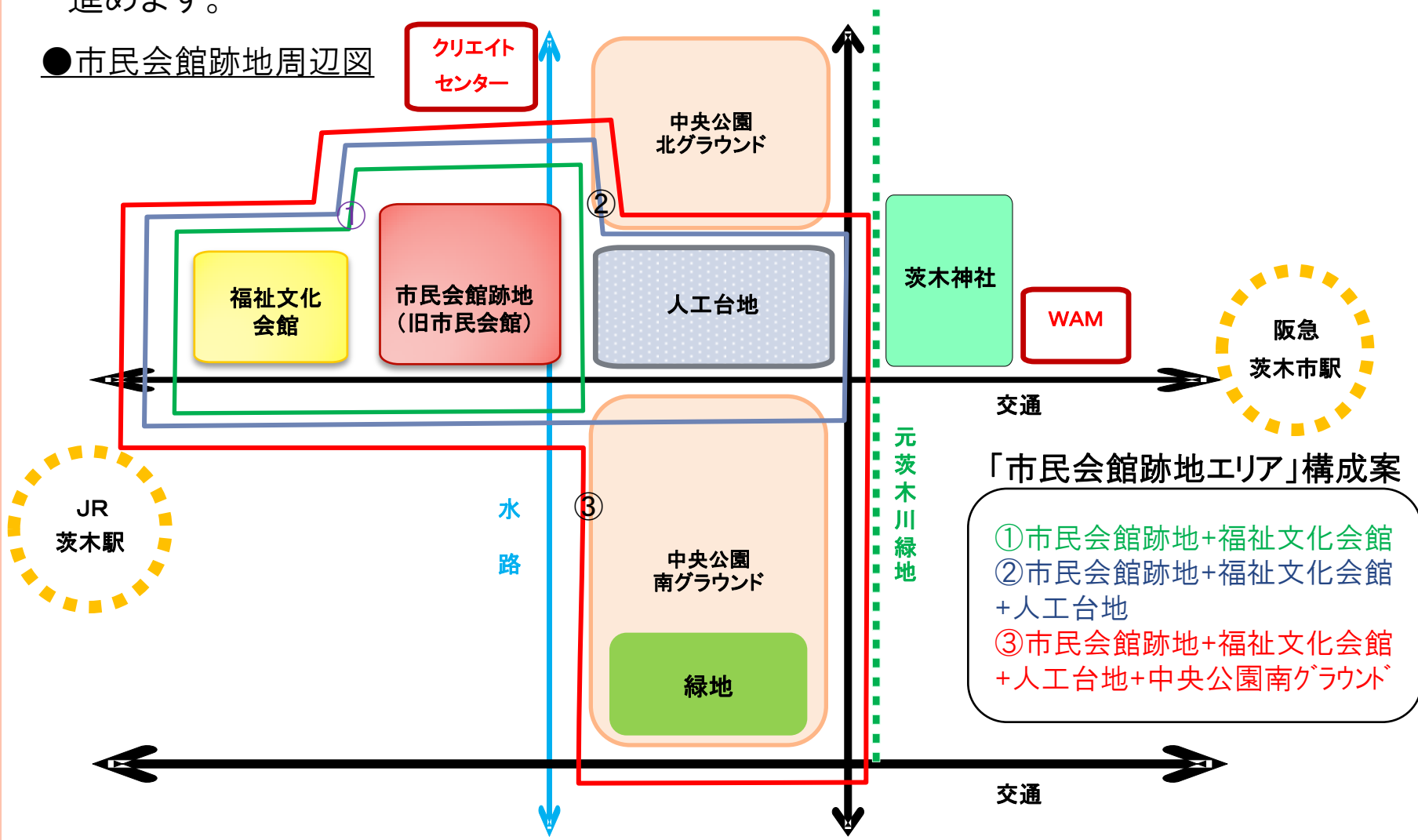
まとめ

- 
- ・総合計画では、中心市街地に、「医療・福祉」、「子育て」、「文化」の機能を組み込むことで、人、モノ、カネ、感性が循環し交流する地域をめざすとしています。
 - ・現在の社会情勢等を踏まえると、「母子保健」と「子育て」については、誰もが訪れやすく利便性の高い場所で、連携したワンストップの拠点を設けることが必要とされています。そういった理由から、市民会館跡地を含む中心市街地は適地と考えられます。
 - ・「医療」については、府の「保健医療計画」との整合性を図りながら、本市の政策課題として、別途、検討することとします。
 - ・市民会館が閉館されており、発表の場や新たな文化芸術にふれる場づくりも求められています。
 - ・その立地性から、中心市街地活性化における市民会館跡地の担う役割は大きく、エリア全体を見据えた検討が必要です。

2 社会情勢・政策課題についての検討

■本市の中心部に位置するという立地性を考慮すると、施設の跡地という“点”でなく、“エリア”として捉え、活用をデザインしていく必要あると考えます。そこで、隣接する福祉文化会館や、南グラウンドなどの一体活用も視野に、以降、「市民会館跡地エリア」として検討を進めます。

●市民会館跡地周辺図



3 跡地エリア活用におけるコンセプト

市民の想いや政策課題などを踏まえ、
跡地エリア活用におけるコンセプトを検討します

3 跡地エリア活用におけるコンセプト

市民会館100人会議における市民との対話から得られた4つのキーワード(要素)と、最終報告会の2つの視点、そして市の政策課題を基本に、跡地エリア活用におけるコンセプトを検討します。

【4つの要素】

「ホール」、「憩える場」、「交流する場」、「にぎわいの場」



【2つの視点】

『ハレの特別な日』、『日常のいごこちのよい場』



【政策】

【子育て支援】と【中心市街地活性化】

【基本性能】

災害時対応、環境配慮、バリアフリーについては、基本性能として検討・整備します。

3 跡地エリア活用におけるコンセプト

■価値観が多様化する中、市民各々の「幸せや豊かさ」もまた多様化しており、従来のハード整備（ハコモノ）のみでは、市民の価値観を満足させることは難しくなっています。

■一方で、100人会議では、「**広場**」というイメージの提示や、行政は「デザイン」や交流する「仕掛け」などを整備し、使い方については、「**市民や時間に任せる**」という考えが示されました。

これらを踏まえ、市民会館跡地エリアの活用にあたっては、以下をキーコンセプトとして検討を進めます。

Key concept 「育てる広場」

市民の皆さんの「ハレの特別な日」と「日常のいごこちのよい場」を担うべく、憩いや、にぎわい、交流などをキーワードに、素敵で使いたくなるような「デザイン」や「仕掛け」を組み込んだ**機能（場）を提供します**。

これはあくまで“**場の提供**”であり、その場所をどう使い、どう活動し、そしてどう変えていくかは、**市民自身で考え、市民自身の手により、「育てる広場」として作り上げられていきます**。

歌う、踊る、散歩する、眺める、待ち合わせ、勉強、お茶など、市民の皆さんのいろいろな「すごし方」や「やりたい」を、生み出し育てる「場づくり」をめざします。

4 必要機能・施設構成のイメージ

コンセプトを踏まえ、必要と考えられる機能や施設のイメージについて示します

4 必要機能・施設構成のイメージ

4つの要素、2つの視点、政策を踏まえ、広場（施設、屋外）に必要な機能イメージを以下の通り示します。

必要な機能（場の提供）

『ハレの特別な日』 × 「ホール」 × 「交流する場」 = 「市民の“ハレ”の場」

『日常のいごちのよい場』

× 「憩える場」 = 「サードプレイス」

× 「にぎわいの場」 × 「交流する場」 × 【中心市街地活性化】

= 「普段使いできる交流とにぎわいの空間」

【子育て支援】 × 「憩える場」 × 「交流する場」 = 「いばらき版ネウボラ」

4 必要機能・施設構成のイメージ

①ホール機能 「市民の“ハレ”の場」

- ・市民利用を中心に想定し、**市民が使いやすい規模、設備のホール**を検討します。発表会など市民にとって特別な「ハレの日」にふさわしい場所とします。
- ・発表する人、見に来る人だけでなく、多様な「交流」が生まれ、文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」となるようにします。

②憩い 「サードプレイス」

- ・屋上の緑化や、屋外に**芝生が広がる公園**を併設するなど、中心市街地でありながら、緑に囲まれ**ゆったりした上質な空間**の広がる「憩い」の場とします。
- ・カフェが併設された図書館や、天気の良い日はそのまま外の芝生で読書ができるような、誰もが心地よく憩うことのできるサードプレイスをめざします。
- ・子育て支援機能との連携により、子育て世代でも、ホールで音楽を聞いたり、演奏活動に取り組んだり、一人の読書時間が持てるなど、自分の「憩い」の時間や活動ができる施設とします。



参考：日比谷図書文化館



参考：大和市文化創造拠点シリウス（写真）株式会社エスエス：加藤俊彦

4 必要機能・施設構成のイメージ

③にぎわい・交流・中心市街地活性化

「普段使いできる交流とにぎわいの空間」

- ・屋内外をつなぐ中間領域の大屋根の下では、**ステージや催事スペース**を設け学生や市民が自由に活動できる場とするなど、オープンスペースで誰かが何かをしている、それがきっかけで何かが始まるというような、日常的にさまざまな人が交わる「にぎわい」の空間とします。
- ・あえて動線を交差させたり、施設をつなぐ経路に滞留できる木陰やベンチを配置するなど、自然に人が交わる空間をめざします。
- ・子どもたちに安全・安心な**遊べる場所**を提供するとともに、多世代との交流も視野に魅力的なイベントを開催するなど、日常的に子どもの声が響く「にぎわいと交流」の空間とします。
- ・訪れたいくなる、誇りに思うような、**広場・施設のデザイン**を行い、周辺地域の価値向上をめざします。



参考：大分いこいの道



参考：讃岐まんのう公園

4 必要機能・施設構成のイメージ

④子育て支援「いばらき版ネウボラ」

- ・子育てに関する切れ目の無い支援を行える拠点施設を設置し、「困る前につながる」状況を生み出すことで、リスクの早期発見・支援を可能にします。
- ・子ども向け図書を揃えたスペースや、屋内遊園を設けるなど、遊びに来たついでに相談できたり、子どもが集まることで、その子どもを中心に、情報交換や交流ができるような場所にします。



参考：あかし子育て支援センター（こども図書室）



親子交流スペース「ハレハレ」



そして、この“場”を市民自身が実際に使い、使い方を考え、変えていくことで、

市民会館跡地エリアを

「育てる広場」

として成長させていきます。

5 コンセプト及び機能を踏まえた敷地設定の検討

キーコンセプトである「育てる広場」とそこから想定される機能イメージを踏まえ、エリア案から

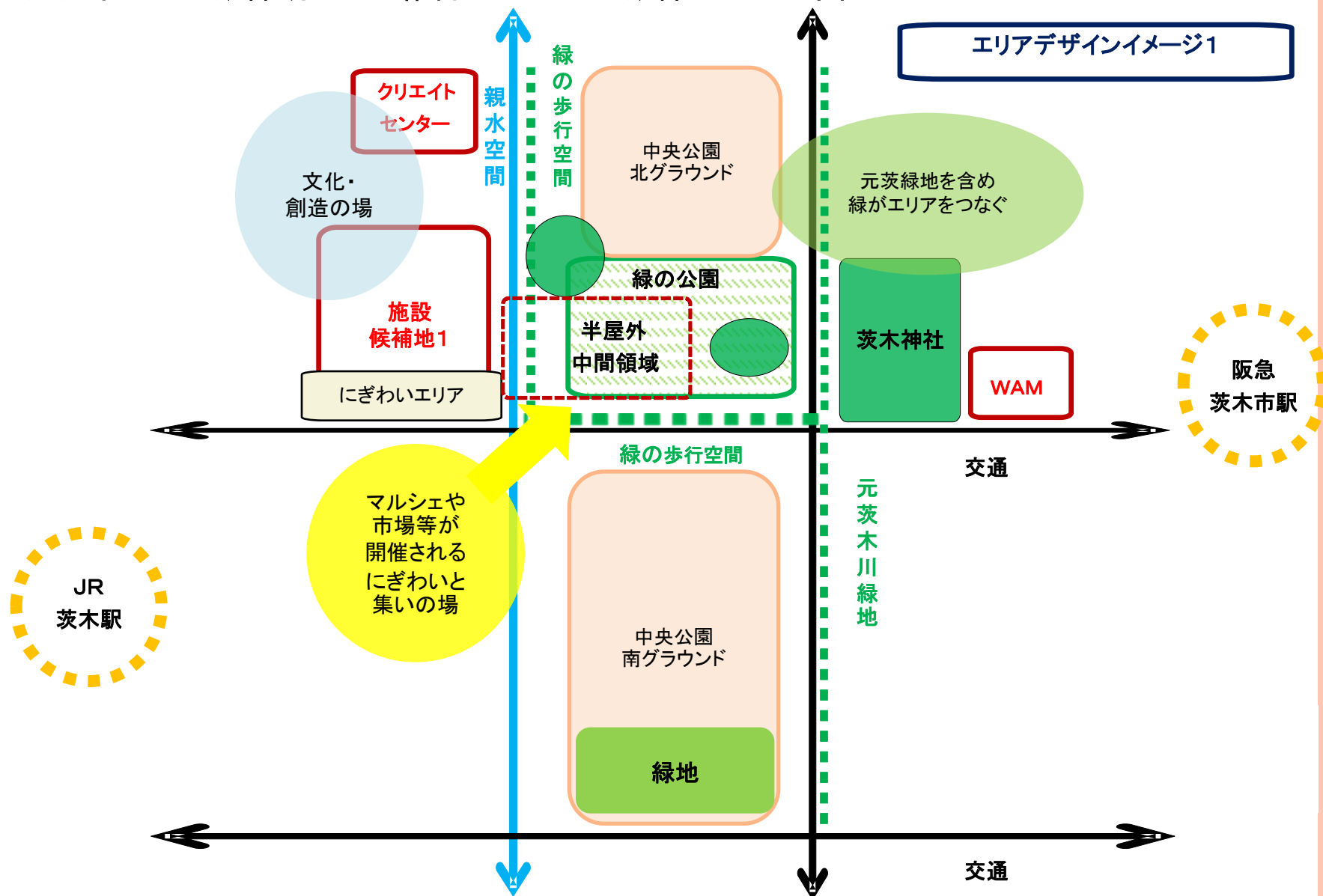
【市民会館跡地+福祉文化会館+人工台地】

【市民会館跡地+福祉文化会館+人工台地+中央公園南グラウンド】

の2案について、そのメリットと課題を検証し整理します

5 コンセプト及び機能を踏まえた敷地設定の検討

(1) 市民会館跡地+福祉文化会館+人工台地



5 コンセプト及び機能を踏まえた敷地設定の検討

(1) 市民会館跡地+福祉文化会館+人工台地

【メリット】

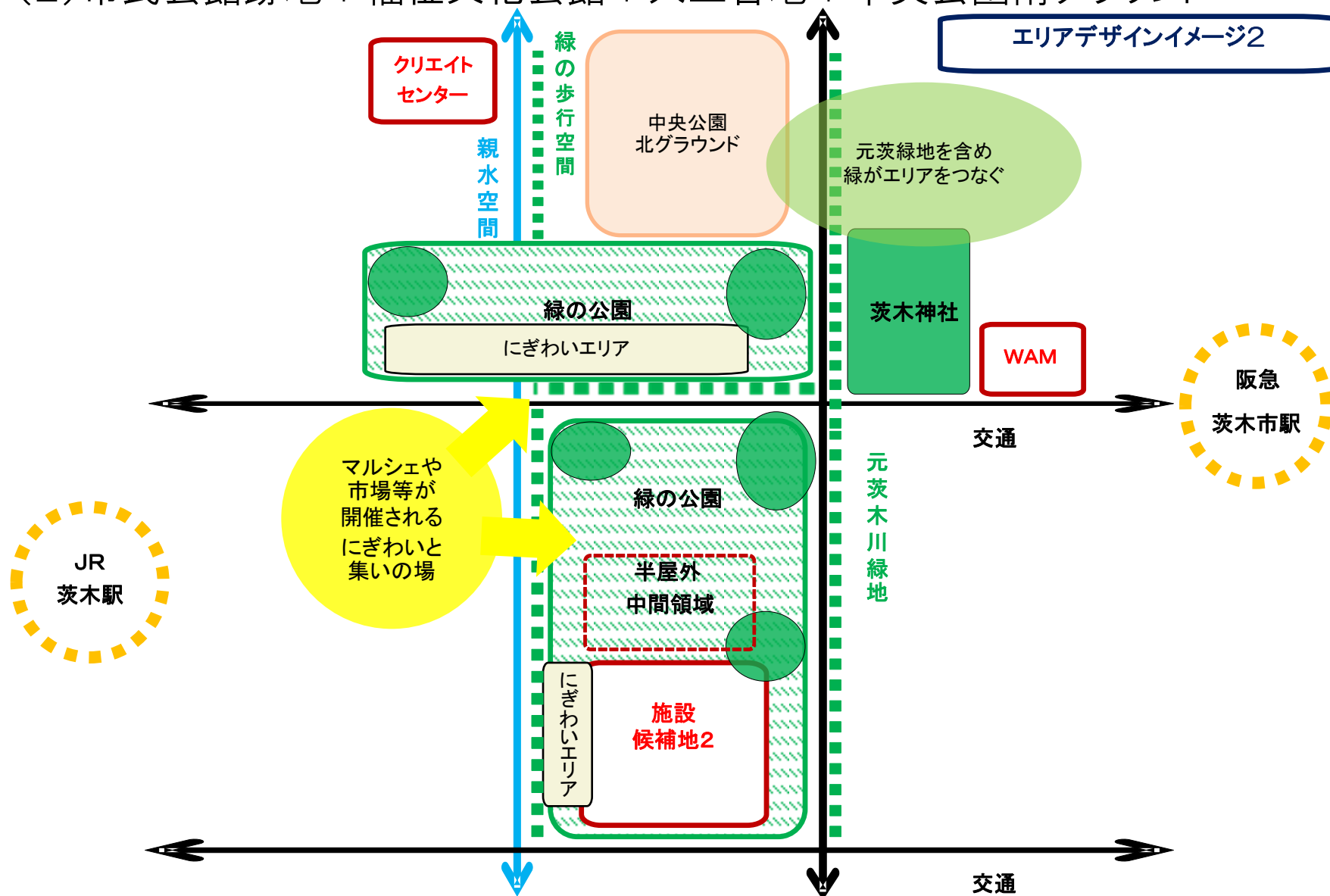
- ・JR、阪急両駅を結ぶ交通軸の中間に位置し、にぎわい施設と交流スペース併設による集客や、動線上にある中心市街地商店街への回遊が期待されます。
- ・中央公園地下駐車場と距離が近く、利便性が高い。また、茨木神社や元茨木川緑地との一体的な緑の活用や、クリエイティブセンターとの連携も期待できます。

【課題】

- ・**不整形地**であり、施設の配置に自由度が少ない。
(養精中学校プールを移設した場合の概算経費 約25億円)
- ・人工台地は都市公園であるため、用途や規模に制限があります。
- ・福祉文化会館工事中の**代替施設の確保・経費が必要**となります。
- ・新施設完成後、**養精中学校への通路**がなくなることから、プール管理用の進入路が確保できなくなります。(今後のプール改修等の**工事費上昇**が懸念)
- ・解体、工事期間中の**騒音、振動**が養精中学校の授業に影響を与えることから、配慮が必要となります。(工事期間制限、**延長リスク**等)

5 コンセプト及び機能を踏まえた敷地設定の検討

(2) 市民会館跡地＋福祉文化会館＋人工台地＋中央公園南グラウンド



5 コンセプト及び機能を踏まえた敷地設定の検討

(2) 市民会館跡地＋福祉文化会館＋人工台地＋中央公園南グラウンド

【メリット】

- ・比較的整形地であり、施設配置に若干余裕があります。
- ・福祉文化会館の代替施設確保が不要となります。
- ・旧市民会館、福祉文化会館敷地を都市公園化し、沿道ににぎわい施設を設置するなど、ゆったりとした空間形成と、阪急、JRからの動線を含めた広がりのある総合的なまちづくりを検討できます。
- ・自転車道、広幅員の歩道に近接するなど、両駅からのアクセスがよく、また、歩行者動線の分散化も図れます。

【課題】

- ・敷地に農林水産省等の土地を含むため、施設建設にあたり購入が必要です。
(約9億5千万円)
- ・都市公園であるため、建築規模に制限があります。
- ・現南側グラウンドが利用できなくなるので、スポーツ活動の場が減少します。
- ・市役所駐車場、業務スーパー利用者との車両輻輳による交通混雑を誘発する可能性があります。